

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.4</b>	0.15	-	-			3.4
1.1 騒音	外壁の透過損失 30dB以上	4.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.96	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.04	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	3.0	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	-	-			3.0
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.63	-	-			
1 室温		3.0	0.49	3.0	-			
2 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.34	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	3.0	-			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.38	3.0	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.9</b>	0.25	-	-			2.9
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.53	-	-			
1 昼光率		3.0	0.04	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.96	3.0	-			
3.2 グレア対策		-	-	-	-			
1 昼光制御		2.0	-	3.0	-			
3.3 照度		<b>2.0</b>	0.01	3.0	-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.45	3.0	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-			3.0
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.49	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.02	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.49	3.0	-			
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			3.1
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	0.46	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	0.54	-	-			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.3</b>	0.20	-	-	
1	空調・換気設備	主たる配管は、北側外壁にメンテナンス性の高い配管スペースを通し	4.9	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水コマ、受水槽の蛇口を設け、省エネ、災害に配慮している	4.9	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	いくつかの通信網を配置し、ネットワーク機器にUPSを設置する	3.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.4</b>	0.30	-	-	3.4
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.5</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	1階5.2m、2階5.45mを確保している	5.0	0.56	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		4.0	0.44	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	主たる配管は、外部の配管スペースに設置	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	2.5
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			1.0	0.30	-	-	1.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			3.0	0.40	-	-	3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	大屋根や屋根付き外部廊下を計画している	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	3.4
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	3.7
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI <sub>m</sub> =0.70	4.0	0.22	-	-	4.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>			-	-	-	-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEI <sub>m</sub> 非住宅 0.58 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.56	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI <sub>m</sub> =0.71	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
<b>4 効率的運用</b>			3.0	0.22	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	3.2
<b>1 水資源保護</b>			3.4	0.20	-	-	3.4
<b>1.1 節水</b>		節水コマ、省水型の大便器を採用	4.0	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			3.0	0.60	-	-	3.0
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		再生木デッキ材	3.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		躯体、仕上げとともに全て乾式工法としている	4.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			3.6	0.20	-	-	3.6
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		接着剤は全て4☆を採用する	5.0	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.3
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率:75%	4.4	0.33	-	-	4.4
<b>2 地域環境への配慮</b>			3.1	0.33	-	-	3.1
<b>2.1 大気汚染防止</b>			3.0	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			3.0	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	大店立地法以上の駐車台数を確保し、十分な荷解きスペースも確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			2.4	0.33	-	-	2.4
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	